

弔辞

今井先生、今日は悲しいお別れに参りました。

先週金曜日、お見舞いに伺い、三十分程お話しして帰りぎわ、また来ますよと言って握手をしたとき、握り返していただいた力強い手の感触がまだ残っています。そして、ベッドから手を振っていらつしやったお姿は目に焼き付いています。このように早くお別れることになるとは思いませんでした。奥様としてご家族の皆様の献身的なご看病の甲斐も無く、ご逝去されましたことに對し心からお悔やみ申し上げます。

休職されましたが、復職のお気持ち強く持つていらつしやることは、奥様やお見舞いに行かれた方から伺っておりました。病床にあつても、多くの学生諸君の指導をしなければならぬという気持ちでいらつしやつたと存じます。本当に残念な思いを持つて旅立たれてしまわれました。私達も残念ですが、先生が一番お心残りだったことでしょうか。

先生とは、私が大学二年生の時、泉ゼミのコンパで初めてお会いして、四十三年になります。あつという間でした。今日も、泉ゼミ卒業生の皆さんがお別れに来ていらつしやいます。先生が助手をされていらつしやつたとき、泉ゼミの七期生の合宿に、私もお手伝いで、ご一緒したことがつい昨日のように思い出されます。原価計算のシンプレックス法と一緒に勉強しました。懐かしい思い出です。

私が大学に入職した時、泉先生、今井先生そして私の三人一緒に研究室でした。授業が終わつた帰り、泉先生のお好きなお酒を、良く三人で飲みました。また、泉先生が部長をされていました会計クラブのCPAの春・夏の合宿に何度もご一緒しました。猛勉強の後の、合宿最終日のコンパでのお酒と歌の楽しい思い出がよみがえります。

泉先生のお考えを受け継ぎ、約四十年間、今井先生と私で多くの職業会計人を育てようとお互いに励まし合つて参りました。そのような中、二年前に、先生と私の教え子が二人同時に公認会計士試験に合格し、先生と二人で喜びました。今では、それも先生との寂しい思い出となつてしまいました。

今井先生は商学部の中で、会計分野の重鎮の一人として、会計学科長を始め各種委員会委員を歴任され、学部にとってかけがいのない方でございました。

そして、先生は長きにわたる教育の功勞として、大学から「育てる教育貢献賞」の顕彰を受けられました。まさに先生にふさわしい顕彰でした。学生をかわいがり、やさしく導き本心に面倒見の良い先生でした。五月の連休の補習、夏合宿、冬休みの補習そして春合宿と献身的に学生の指導をされていらつしやいました。今日も、懐かしい卒業生の方々、大学院の院生諸君、学部の学生の皆さん大勢、お別れに来ていらつしやいますよ。

今井先生、お見舞いのおときお話ししましたが、ゼミの学生の皆さんのことは残された私達会計分野の教員で指導をさせていただきます。どうかご安心ください。そして、私は、今後も職業会計人を一人でも多く育てることを目指してまいります。

今井先輩、本当に心残りですがこれでお別れといたします。どうぞ安らかにお眠りください。

平成二十四年八月十八日

東京国際大学 商学部 友人代表 横山一朗